

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 326番
- \*交読文 …………… 39番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 334番
- メッセージ …………… 父のそばで放蕩した兄息子(ルカ 15:25-32)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 378番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられる ように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

ヨシャパテの祈り (空欄に今、障害となっている事を入れて祈りましょう)

今、私に障害となっている\_\_\_\_\_をご覧ください。この\_\_\_\_\_は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかった事です。ご覧ください。\_\_\_\_\_が私にしようとしていることを。\_\_\_\_\_は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの\_\_\_\_\_に当たる力は、私にはありません。私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに\_\_\_\_\_と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名によって宣言します！ アーメン！

放蕩息子の譬えは元々、罪人と一緒にいるイエス様をなじったパリサイ派や律法学者達に対して語られたものであり(ルカ 15:1-3)弟息子はイエス様に立ち返った罪人達を、兄息子は彼ら宗教指導者を指している。弟息子は「罪を犯しました」と告白したが、弟が告白した「罪」とは、具体的に何だろう。そして、弟息子がしてきたあらゆる事を「しなかった」兄息子には、果たして何の罪も無かったのだろうか？

「罪」のギリシャ語「ハマルティア」は「的外れ」という意味であり、本来あるべき姿から外れている様を意味する。罪とは神に対して背を向ける事であり、神はいつでも向きを変えて帰ってくる事を望んでおられる。兄にも弟にも共通している事は、二人とも素晴らしい父のそばにしながら、その愛も富も全く味わう事も、楽しむ事をせず、あたかも、父のそばは居心地の悪い所、窮屈な所と感じ、心が離れていた事だ。兄も弟も、父と親子の関係にありながら、本来あるべき父との人格的な交わりも実体も、無かったのである。

兄息子は「私には、友だちと楽しめと言って、子山羊一匹下さったことはありません。」と言っているが、果たしてそうだったのだろうか。12節を見ると、兄も身代をの分配を受け取っているのである。そして「子よ、お前はいつもわたしと一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。」と御父は言っている。兄息子は、既に受け取った莫大な相続財産を忘れ、御父のそばにしながら、いつでも享受できるはずの恵みの機会をずっと無駄に過ごし、ずっと注がれてきた御父の愛を、いつも放蕩してきたのだ。

兄の「長年の間、私はおとうさんに仕え、戒めを破ったことは一度もありません。」という言葉から、彼にとって父が喜ぶ事とは、戒めを破らない事であり、そしてそれに喜びは見出せなかった事も分かる。弟も同じように感じていたため、そんな窮屈な父や兄の所からさささと出て行きかけたのである。兄や弟の父に対する誤解はまさしく、宗教指導者達が陥った事であり、そして私達も陥りやすい罠である。皆さんは、礼拝に出る事、イエス様に仕える事に、喜びを感じるだろうか。窮屈さを感じていないだろうか。兄も弟も、父がどれほど素晴らしい愛で愛しているか、どれほどの英知で彼らを見守っているか、分らなかったが、弟息子が放蕩し尽くし散々な目に遭って帰ってきた時、その愛が明らかにされた。

弟息子が散財してどうしようもなくなる事を、父は初めから分かっていたし、弟が帰ってきた時、兄息子が父の対応を不服に思うであろう事さえ、全能なる父であるからには、当然分かっていた。分かっているながら弟を送り出し、あたかも放任主義のように振舞われたのは、これら全てを乗り越えた向こう側で、息子達は真実に御父を知るようになり、心から親子の愛の関係に入る事を、見ていたからである。全て御父からの祝福は、自分の十字架の向こう側、自己の死を経て復活した領域において、得るのである。

与えられているものの価値が分からず、それへの感謝も無く、思いの中が自分のやりたい事によってパンパンに満ちている時、私達は、与えられた相続財産も、御父の懐にいる事の恵みも、放蕩する以外に無い。大切な事は、弟息子のように物質的なモノをいただく事ではなく、兄のように嫌々ながら仕える事でもない。御父とのいのちの交わりこそ大切であり、そして、兄弟姉妹との喜びの交わりを回復するべきである。「わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたもわたしたちとの交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです。」(1ヨハネ 1:3) その交わりこそ、自由意志に拠る、何のわだかまりも窮屈さも無い交わりであり、御父が「この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかった」と言って心底喜び、望まれた、命の交わりである。

「あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によつてわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。」(ローマ 8:15)

隷属する霊ではなく、子としていただく御霊を受けた者らしく、御父の愛の広さ、高さ、深さを知り、真に自由な交わりを存分に楽しむ皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝	14:00
聖書勉強会	15:00

日々の集会		
月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト